



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場会社名 マツダ株式会社
コード番号 7261 URL <http://www.mazda.com/ja/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小飼 雅道

問合せ先責任者 (役職名) 財務本部 経理部長 (氏名) 竹多 政博

TEL 082-282-1111

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家・メディア向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	776,204	△3.7	52,439	△1.7	44,928	△17.7	21,230	△42.2
28年3月期第1四半期	806,007	14.2	53,324	△5.4	54,617	0.1	36,753	△24.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 6,812百万円 (△81.0%) 28年3月期第1四半期 35,925百万円 (△24.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	35.51	—
28年3月期第1四半期	61.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,423,077	977,896	39.4
28年3月期	2,548,401	976,723	37.4

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 955,067百万円 28年3月期 954,016百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	15.00	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,280,000	△3.7	170,000	△25.0	176,000	△21.3	115,000	△14.4	192.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	599,875,479 株	28年3月期	599,875,479 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	2,058,196 株	28年3月期	2,057,937 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	597,817,358 株	28年3月期1Q	597,820,074 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
4. 補足情報	12
生産及び販売の状況	12

※ 参考資料 平成29年3月期 第1四半期 決算参考資料（連結）

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、平成29年3月期を初年度とする中期経営計画「構造改革ステージ2」の下、「走る喜び」と「優れた環境・安全性能」を両立する魅力ある商品をお届けするとともに、全領域でビジネスの質的成長を目指し、ブランド価値のさらなる向上に向けて取り組んでおります。

本年5月には、北米市場において、新型3列ミッドサイズクロスオーバーSUV「マツダ CX-9」の販売を開始しました。新型「CX-9」は、マツダの新世代技術「SKYACTIV TECHNOLOGY」とデザインテーマ「魂動（こどう）-Soul of Motion」を全面的に採用した新世代商品群の最上級モデルとして、機能やスペックを超えた上質な心地よさをお届けします。また、本年4月に開催された「北京モーターショー2016」において、新世代商品群の最新モデルとなる、新型クロスオーバーSUV「マツダ CX-4」を世界初公開しました。新型「CX-4」は、SUV需要が拡大する中国において、マツダブランドのさらなる成長を支える商品として、本年6月より本格的に販売を開始しております。

当第1四半期連結累計期間のグローバル販売台数は、「マツダ CX-3」の販売がグローバルに寄与したことに加え、新型「マツダ ロードスター（海外名：MX-5）」の販売も順調に推移したことから、前年同期比1.3%増の375千台となりました。

市場別の販売台数は、次のとおりです。

<日本>

前年同期における「マツダ デミオ（海外名：Mazda2）」や「CX-3」の新車効果の反動のほか、他社との競合等により、前年同期比31.4%減の39千台となりました。

<北米>

米国は、新型「CX-9」の順調な滑り出しや、「CX-3」及び新型「MX-5」の台数貢献により、前年同期とほぼ同水準の販売となりました。一方、北米全体では、販売環境が悪化したメキシコで台数が減少したことにより、前年同期比2.4%減の113千台となりました。

<欧州>

順調な販売が続く「CX-3」と新型「MX-5」の寄与により、前年同期比21.6%増の66千台となりました。国別では、主要市場であるドイツや英国など、ロシアを除く各国で市場の伸びを上回る販売を達成しました。

<中国>

小型車減税政策の効果継続により「Mazda3（日本名：マツダ アクセラ）」の販売が増加したほか、新型「CX-4」を導入したことなどにより、前年同期比3.1%増の59千台となりました。

<その他の市場>

主要市場のオーストラリアでは、「CX-3」の寄与により、前年同期を上回る販売を達成しました。また、ASEAN市場では、ベトナムやタイで販売が好調であったほか、その他の市場においても、ニュージーランドやサウジアラビアなどで過去最高の販売を記録したことにより、全体で前年同期比14.0%増の98千台となりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は、新世代商品群の販売が増加した一方で、為替相場の円高影響もあり、7,762億円（前年同期比298億円減、3.7%減）となりました。営業利益は、台数・車種構成の改善や「モノ造り革新」のグローバル展開によるコスト改善の進捗等により、対ドル・ユーロなど主要通貨で円高が進行したものの、前年同期と同水準の524億円（前年同期比9億円減、1.7%減）となりました。経常利益は449億円（前年同期比97億円減、17.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は212億円（前年同期比155億円減、42.2%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

日本は売上高が6,179億円（前年同期比573億円減、8.5%減）、セグメント別営業利益（以下、営業利益）は207億円（前年同期比84億円減、28.8%減）となりました。北米は売上高が3,322億円（前年同期比481億円減、12.6%減）、営業利益は112億円（前年同期比27億円減、19.4%減）、欧州は売上高が1,581億円（前年同期比100億円増、6.8%増）、営業利益は22億円（前年同期比4億円増、21.8%増）、その他の地域は売上高が1,361億円（前年同期比16億円減、1.1%減）、営業利益は68億円（前年同期比23億円増、49.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より1,253億円減少し、2兆4,231億円となり、負債合計は、前連結会計年度末より1,265億円減少し、1兆4,452億円となりました。有利子負債は、前連結会計年度末より498億円減少し、5,674億円となり、有利子負債から現金及び現金同等物の四半期末残高を除いた純有利子負債は、前連結会計年度末より17億円減少の467億円となりました。純有利子負債自己資本比率は、前連結会計年度末より0.2ポイント改善し、4.9%となりました。

純資産は、前連結会計年度末より12億円増加し、9,779億円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末より2.0ポイント増加し、39.4%（劣後特約付ローンの資本性考慮後40.9%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より481億円減少し、5,207億円となりました。

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益394億円等により、305億円の増加（前年同期は630億円の増加）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出233億円等により、238億円の減少（前年同期は265億円の減少）となりました。これらの結果、連結フリー・キャッシュ・フロー（営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計）は、67億円の増加（前年同期は365億円の増加）となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払等により445億円の減少（前年同期は613億円の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の業績予想につきましては、国内外の経済動向や為替相場の変動など、当社グループを取り巻く事業環境を慎重に見極める必要があることから、平成28年4月27日公表の数値を据え置いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	457,655	389,546
受取手形及び売掛金	198,894	194,848
有価証券	141,200	161,300
たな卸資産	383,515	347,866
その他	213,124	199,378
貸倒引当金	△681	△552
流動資産合計	1,393,707	1,292,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	175,073	171,596
機械装置及び運搬具(純額)	248,455	245,046
土地	410,195	409,527
リース資産(純額)	4,686	4,391
その他(純額)	99,111	92,195
有形固定資産合計	937,520	922,755
無形固定資産	30,738	29,876
投資その他の資産		
投資有価証券	136,063	133,647
退職給付に係る資産	2,887	3,031
その他	50,435	44,215
貸倒引当金	△2,949	△2,833
投資その他の資産合計	186,436	178,060
固定資産合計	1,154,694	1,130,691
資産合計	2,548,401	2,423,077

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	374,637	332,952
短期借入金	117,143	114,797
1年内償還予定の社債	350	350
1年内返済予定の長期借入金	140,798	107,334
リース債務	1,896	1,821
未払法人税等	31,784	8,250
未払費用	168,799	176,590
製品保証引当金	104,723	101,619
その他	66,340	52,025
流動負債合計	1,006,470	895,738
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	333,661	320,023
リース債務	3,284	3,026
再評価に係る繰延税金負債	64,719	64,719
関係会社事業損失引当金	7,326	7,439
環境対策引当金	677	677
その他の引当金	312	305
退職給付に係る負債	85,916	85,278
その他	49,313	47,976
固定負債合計	565,208	549,443
負債合計	1,571,678	1,445,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	258,957	258,957
資本剰余金	243,048	243,048
利益剰余金	367,601	381,763
自己株式	△2,228	△2,229
株主資本合計	867,378	881,539
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,721	2,483
繰延ヘッジ損益	△600	1,919
土地再評価差額金	145,952	145,952
為替換算調整勘定	△36,877	△51,642
退職給付に係る調整累計額	△25,558	△25,184
その他の包括利益累計額合計	86,638	73,528
非支配株主持分	22,707	22,829
純資産合計	976,723	977,896
負債純資産合計	2,548,401	2,423,077

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	806,007	776,204
売上原価	602,831	586,029
売上総利益	203,176	190,175
販売費及び一般管理費	149,852	137,736
営業利益	53,324	52,439
営業外収益		
受取利息	944	756
持分法による投資利益	4,435	8,264
その他	2,069	1,725
営業外収益合計	7,448	10,745
営業外費用		
支払利息	3,245	2,840
為替差損	2,332	13,546
その他	578	1,870
営業外費用合計	6,155	18,256
経常利益	54,617	44,928
特別利益		
固定資産売却益	24	165
投資有価証券売却益	-	62
その他	5	-
特別利益合計	29	227
特別損失		
固定資産除売却損	490	465
減損損失	26	385
関係会社事業損失引当金繰入額	225	113
事業構造改善費用	-	4,770
特別損失合計	741	5,733
税金等調整前四半期純利益	53,905	39,422
法人税、住民税及び事業税	13,781	7,236
法人税等調整額	2,758	10,448
法人税等合計	16,539	17,684
四半期純利益	37,366	21,738
非支配株主に帰属する四半期純利益	613	508
親会社株主に帰属する四半期純利益	36,753	21,230

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	37,366	21,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	986	△1,237
繰延ヘッジ損益	△1,686	2,511
為替換算調整勘定	△1,302	△12,210
退職給付に係る調整額	△83	401
持分法適用会社に対する持分相当額	644	△4,391
その他の包括利益合計	△1,441	△14,926
四半期包括利益	35,925	6,812
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,053	8,120
非支配株主に係る四半期包括利益	872	△1,308

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	53,905	39,422
減価償却費	19,175	19,498
減損損失	26	385
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△38	37
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	3,553	△3,104
関係会社事業損失引当金の増減額 (△は減少)	2,364	113
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,954	△7
受取利息及び受取配当金	△1,269	△926
支払利息	3,245	2,840
持分法による投資損益 (△は益)	△4,435	△8,264
有形固定資産除売却損益 (△は益)	466	300
売上債権の増減額 (△は増加)	22,605	△5,238
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△25,102	9,843
仕入債務の増減額 (△は減少)	36	△32,656
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	2,437	13,457
その他	△278	23,030
小計	74,736	58,730
利息及び配当金の受取額	4,372	1,637
利息の支払額	△2,440	△1,797
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△13,651	△28,049
営業活動によるキャッシュ・フロー	63,017	30,521
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△220
投資有価証券の売却及び償還による収入	-	270
有形固定資産の取得による支出	△23,940	△23,333
有形固定資産の売却による収入	161	882
無形固定資産の取得による支出	△2,778	△1,564
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△3	26
長期貸付けによる支出	△114	△55
長期貸付金の回収による収入	142	143
その他	△10	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,543	△23,821

(単位：百万円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△11,433	4,133
長期借入れによる収入	150	100
長期借入金の返済による支出	△43,867	△39,159
リース債務の返済による支出	△461	△515
非支配株主からの払込みによる収入	297	-
配当金の支払額	△5,978	△8,967
非支配株主への配当金の支払額	△36	△70
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△1
その他	-	14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△61,328	△44,465
現金及び現金同等物に係る換算差額	889	△15,088
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△23,965	△52,853
現金及び現金同等物の期首残高	529,148	568,714
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	4,790
現金及び現金同等物の四半期末残高	505,183	520,651

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	その他 の地域	計		
売上高							
外部顧客への売上高	244,305	290,968	143,994	126,740	806,007	—	806,007
セグメント間の内部 売上高又は振替高	430,901	89,290	4,068	10,905	535,164	△535,164	—
計	675,206	380,258	148,062	137,645	1,341,171	△535,164	806,007
セグメント利益	29,039	13,836	1,837	4,575	49,287	4,037	53,324

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	その他 の地域	計		
売上高							
外部顧客への売上高	215,072	281,398	154,113	125,621	776,204	—	776,204
セグメント間の内部 売上高又は振替高	402,797	50,795	3,959	10,471	468,022	△468,022	—
計	617,869	332,193	158,072	136,092	1,244,226	△468,022	776,204
セグメント利益	20,666	11,156	2,237	6,827	40,886	11,553	52,439

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成28年7月20日、新規劣後特約付ローン（以下、「本劣後ローン」という。）による資金調達及び既存劣後特約付ローン（以下、「既存劣後ローン」という。）の期限前弁済を実施しました。概要は以下のとおりです。

なお、詳細につきましては、平成28年7月11日に公表しました「新規劣後特約付ローンによる資金調達及び既存劣後特約付ローンの期日前弁済に関するお知らせ」をご参照ください。

(1) 本劣後ローンの概要

借入額	700億円
資金使途	既存劣後ローンの返済に充当
実行日	平成28年7月20日
満期日	平成88年7月20日
本劣後ローンの 参画投資家（貸付人）	株式会社三井住友銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社日本政策投資銀行、株式会社広島銀行、株式会社山口銀行、株式会社もみじ銀行
重要な特約事項	期限前弁済に関する条項、借換制限条項
格付機関による本劣後 ローンの資本性評価	クラス3、50%（株式会社格付投資情報センター）

(2) 既存劣後ローンの期限前弁済の内容

期限前弁済日	平成28年7月20日
期限前弁済総額	700億円
期限前弁済事由	既存劣後ローンの期限前弁済条項による。（※）

※ 既存劣後ローンに当初設定された期限前弁済可能日（平成29年7月20日以降の利払日）より以前に、全貸付人の事前同意に基づいて返済するもの。

(3) 業績に与える影響

本劣後ローンによる資金調達及び既存劣後ローンの期限前弁済による当社の連結業績への影響は軽微であります。

4. 補足情報

生産及び販売の状況

①生産実績

区 分		前第1四半期連結累計期間 (H27. 4. 1～H27. 6. 30)	当第1四半期連結累計期間 (H28. 4. 1～H28. 6. 30)	増 減
車 両	日 本	226,105 台	220,400 台	△5,705 台
	北 米	53,777	44,973	△8,804
	合 計	279,882	265,373	△14,509

(注) 生産実績には、連結出荷台数に含まれる以下の持分法適用関連会社の生産車（マツダブランド車）は含まれておりません。

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	増 減
オートアライアンス (タイランド) Co., Ltd.	32,786台	33,912台	1,126台

②販売実績（セグメント別売上高）

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (H27. 4. 1～H27. 6. 30)	当第1四半期連結累計期間 (H28. 4. 1～H28. 6. 30)	増 減
	百万円	百万円	百万円
日 本	244,305	215,072	△29,233
北 米	290,968	281,398	△9,570
欧 州	143,994	154,113	10,119
そ の 他 の 地 域	126,740	125,621	△1,119
合 計	806,007	776,204	△29,803

(注) セグメント間の取引については、相殺消去しております。

③販売実績（製品別売上高）

区 分	前第1四半期連結累計期間 (H27. 4. 1～H27. 6. 30)		当第1四半期連結累計期間 (H28. 4. 1～H28. 6. 30)		増 減	
	台 数	金 額	台 数	金 額	台 数	金 額
車 両	307,531 台	674,164 百万円	313,113 台	646,573 百万円	5,582 台	△27,591 百万円
海 外 生 産 用 部 品	—	19,254	—	16,225	—	△3,029
部 品	—	58,950	—	57,345	—	△1,605
そ の 他	—	53,639	—	56,061	—	2,422
合 計	—	806,007	—	776,204	—	△29,803

<出荷台数仕向地別内訳>

区 分		前第1四半期連結累計期間 (H27. 4. 1～H27. 6. 30)	当第1四半期連結累計期間 (H28. 4. 1～H28. 6. 30)	増 減
車 両	日 本	57,944 台	39,326 台	△18,618 台
	北 米	114,898	116,662	1,764
	欧 州	53,986	65,678	11,692
	その他の地域	80,703	91,447	10,744
	海 外 計	249,587	273,787	24,200
合 計	307,531	313,113	5,582	

(注) 出荷台数には、他社ブランドで販売される車両の台数を含めておりません。

平成29年3月期 第1四半期 決算参考資料(連結)

平成28年7月29日

マツダ株式会社

(単位:千台/億円)

(左肩:売上高利益率)			前第1四半期実績 (H27.4~H27.6)		当第1四半期実績 (H28.4~H28.6)		前期実績 (H27.4~H28.3)		平成29年3月期 通期予想 (H28.4~H29.3)					
					%		%		%		%			
売上高	国内	1	1,655	+34.3	1,205	△27.2	6,609	+7.1	6,600	△0.1				
	海外	2	6,405	+10.0	6,557	+2.4	27,457	+13.6	26,200	△4.6				
	計	3	8,060	+14.2	7,762	△3.7	34,066	+12.3	32,800	△3.7				
営業利益		4	6.6%	533	△5.4	6.8%	524	△1.7	6.7%	2,268	+11.8	5.2%	1,700	△25.0
経常利益		5	6.8%	546	+0.1	5.8%	449	△17.7	6.6%	2,236	+5.2	5.4%	1,760	△21.3
税引前四半期(当期)純利益		6	6.7%	539	+2.1	5.1%	394	△26.9	4.9%	1,670	△20.2	5.2%	1,690	+1.2
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益		7	4.6%	368	△24.8	2.7%	212	△42.2	3.9%	1,344	△15.4	3.5%	1,150	△14.4
セグメント(所在地)別営業利益														
	日本	8	290		207		1,625							
	北米	9	138		112		298							
	欧州	10	18		22		87							
	その他の地域	11	46		68		216							
営業利益変動要因														
	台数・車種構成	12			+113									+180
	為替	13			△339									△810
	コスト改善	14			+143									+310
	販売費用	15			+25									△40
	その他の	16			+49									△208
	計	17			△9									△568
為替レート(円)	売上	USドル	121		108		120		110					
		ユーロ	134		122		133		125					
	入金	USドル	122		103		119		109					
		ユーロ	133		122		133		125					
設備投資		20	167		133		892		1,050					
減価償却費		21	192		195		790		830					
研究開発費		22	270		289		1,166		1,250					
総資産		23	24,643		24,231		25,484							
自己資本		24	8,991		9,551		9,540							
有利子負債残高		25	6,531		5,674		6,171							
純有利子負債残高		26	1,479		467		484							
フリー・キャッシュ・フロー		27	365		67		1,547							
グローバル販売台数	日本	28	57	+44.0	39	△31.4	232	+3.5	233	+0.3				
	北米	29	116	+5.6	113	△2.4	438	+3.0	449	+2.5				
	欧州	30	54	△3.5	66	+21.6	257	+12.0	260	+1.3				
	中国	31	57	+30.8	59	+3.1	235	+9.5	238	+1.3				
	その他	32	86	+21.9	98	+14.0	372	+22.6	370	△0.6				
	計	33	370	+15.8	375	+1.3	1,534	+9.8	1,550	+1.0				
グローバル生産台数	国内	34	226	△4.2	220	△2.5	989	+7.6	980	△1.0				
	海外	35	144	+74.8	136	△5.9	582	+27.7						
	計	36	370	+16.2	356	△3.8	1,571	+14.3						

※グローバル販売台数: マツダブランド名で販売される全世界小売台数であります。

※グローバル生産台数: 国内工場とメキシコ工場で生産される台数(他社ブランド含む)に加え、その他海外工場(主に中国、タイ)においてマツダブランド名で生産される台数であります。